

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

一人ひとりのために、日本のために。



一人ひとりのために、日本のために。経済、安全保障、社会保障など多くの課題に立ち向かわなければならない私たちの国日本。日本に生まれてよかったと思える温かい社会にしたい。額に汗する人が報われる公正で信義のある社会にしたい。すべての政策は国民のためにあります。ようやく動き出した好循環、経済再生と財政再建をともに実現するには、この道しかない。そう確信しています。



1 経済再生・財政再建

アベノミクスの成果が確実に経済を再生させつつあります。経済再生と財政再建が両立し、「額に汗する人が報われる」社会に向け日本経済を本格的な成長軌道に乗せまします。そのためにエネルギー価格の高止まりなどの物価動向や消費に対する地域の実情に配慮してまいります。国民一人ひとりが再生を実感できる社会を実現します。藤沢市内も雇用状況は改善され、アベノミクスの効果が中小企業へ届くまであと一歩です。エネルギー政策も含め企業環境の改善を推進します。

2 地方創生・女性活躍推進

地方が主役となり、特性を生かし、責任を持って推進する取り組みを応援します。「藤沢駅周辺整備」や「遠藤地区の健康と文化の森地区計画」「村岡新駅」など国と県市が協力して基盤整備を強力に進めます。食料自給率を向上させ強い農林水産業を目指します。藤沢市・寒川町のような都市型農業に特化した政策に重点を置いてまいります。

3 暮らしの安全安心、教育再生

持続可能な社会保障制度を確立し、安心して暮らせる環境を創ります。国民皆保険を次の世代へつなげるために、医療保険制度改革を行います。

4 地球儀を俯瞰した積極的平和外交

「地球儀を俯瞰する外交」を推進し、政治の基本である「国民の財産と生命を守る」ため積極的な平和外交を展開します。我が国の主権と領土・領海を守るために、監視・取締体制の強化やそのための活動拠点の整備等推進します。

5 政治・行政改革

国民のための政治・行政改革を推進します。議員定数の削減を実行したことをはじめよりよい選挙制度を引き続き目指します。行政が民間の感覚や常識から外れ、遊離しないよう厳しく監視し国民の信用に足るよう頑張ります。

6 憲法改正

時代に合った憲法が必要です。変化を恐れることなく国益を守るために必要な整備を行っています。

景気回復、この道しかない。比例代表も自民党へ

星野つよし Profile

昭和38年 8月8日生まれ(51歳)
昭和54年 3月 藤沢市立長後中学校卒業
昭和57年 3月 神奈川県立鶴岡高等学校卒業
昭和58年 4月 日本大学法学部新聞学科入学
昭和62年 6月 ニューヨーク「エルミラ」大学国際関係学科卒業
昭和63年 3月 日本大学法学部新聞学科卒業
昭和63年 4月 産経新聞社に入社 社会部記者
平成 2年 4月 政治部に配属、首相官邸・外務省・自民党など担当
平成 5年 3月 産経新聞社を退社
平成 7年 4月 神奈川県議会議員初当選(当時31才、最年少議員)
平成11年 4月 二期目当選(第2位)
平成15年 4月 三期目トップ当選
平成20年 2月 藤沢市長選に立候補、42,020票を獲得するも約2,800票差で惜敗
経営コンサルティング会社取締役
平成22年 6月 自民党神奈川県連の公募により衆議院神奈川県第12選挙区支部支部長に選任
平成24年12月 第46回 衆議院議員選挙 73,476票を獲得し、初当選
平成25年 衆議院 外務委員会 政治倫理審査会 議院運営委員会 国家安全保障に関する特別委員会 所属
自由民主党 広報本部ネットメディア局次長
神奈川県連常任顧問
衆議院 外務委員会 政治倫理審査会 議院運営委員会 所属
自由民主党 外交部会副会長
経済産業部会副会長 神奈川県連常任顧問



自民党公認
星野つよし

<http://www.facebook.com/hossys>

[hossys](http://www.t-stars.com/)

<http://www.t-stars.com/>

消費税10%先送りではなく、きっぱり中止を

安倍政権と対決
日本共産党への
ご支持を

選挙は
比例代表
日本共産党
と書き
ください

「海外で戦争する国づくり」や「憲法9条を生かした平和外交を」を求め、憲法9条を生かした外交で、紛争を話し合いで解決する北東アジアの平和の枠組みをつくりたい。国民の目、耳、口をふさぎ、戦争に動員する特定秘密保護法は撤廃させます。

再稼働ストップ
「原発ゼロの日本へ」
福島第一原発事故で、原発と人類は共存できないことが明らかになりました。1年以上も原発ゼロで乗り切りました。原発に頼らず、再生可能エネルギーへ転換します。

アベノミクスで格差拡大、景気悪化
消費税率8%増税、金融緩和による円安、物価高騰などで、15ヵ月連続で実質賃金が下がりがり、国民の所得が増えず景気悪化は深刻で、これは、増税不況にほかなりません。3党合意で消費税増税をすすめた自民、民主、公明の責任はきわめて重大です。

暮らし第一で
経済を立て直す
3つの提案
1 人間らしく働ける雇用のルールをつくる
2 社会保障切り捨てから充実へ
3 TPPからの撤退、中小企業の振興

消費税率に頼らない
2つの改革
1 富裕層や大企業への応分の負担を求め、税制改革。
2 大企業の内部留保285兆円の一部を活用し所得を増やす経済改革。

若者を戦場に送り出す集団的自衛権の行使容認、秘密保護法の施行、原発の再稼働、消費税10%の大増税など、私たちの平和な暮らしを脅かす、安倍自公政治に国民の審判を下すことのできる総選挙です。
今、多くの若い世代が安倍自公政治に対して怒りの声をあげています。私は、若者の声を国会に届け、真に平和と民主主義、私たちのいのちと暮らしが大切にされる政治をつくるために全力でがんばる決意です。

党12区 青年・雇用対策委員長
藤木 和彦 誕生、和光大学卒業、党神奈川県委員会勤務、週刊新聞「新かながわ」記者、党県委員会准委員長、党湘南地区委員会勤務。特技：バスケットボール
趣味：映画・美術鑑賞、読書。25歳。

国民を裏切る政治から、国民の声が生きる政治を



日本共産党
味村こうたろう
みむら 耕太郎

誇らしい国へ。 伝統・文化を尊重しつつ、 勇気をもって改革していく

自主憲法制定

国民の生命・財産を守る統治機構の確立
日本人の手による、素晴らしい伝統・文化に根ざした平和憲法の制定
• およそ現在の国際社会における、現代的な憲法は、そのほほすべてで「平和主義」を明記しており、新憲法においても当然に平和主義の理念を踏襲する。国民の安全を保障する統治機構の確立を目指す。

教育改革

日本人であることに誇りを持ち、日本に愛着を持てる教育
先人たちの偉業を教える歴史教育の確立
• 自虐史観に囚われた戦後教育から脱却し、祖先の偉業を学び、日本の伝統・文化・歴史に誇りを持つ国民意識を育む。同時に、故郷・国に愛着を抱き、進んで社会の平和的発展に貢献しようとする姿勢を育む。

経済復活

正規雇用が増え、国民所得が増加するまでの消費税増税は中止
• デフレで所得が下がっている状態での増税はGDPが下がり、かえって税収は落ちる。
• 国民経済にとっては厚層い中間層(正規雇用)を持つことが望ましく、非正規雇用が40%近くを占める状態では増税の影響が大きい。
• 国民経済にとって、格差が生じることは望ましくなく、一億総中流を目指す。

外交・安全保障

尖閣諸島をはじめとした国境の島々の防衛体制の確立
不当な内政干渉に対して、毅然として対応できる外交を推進
• 我が国の領域を含む海洋及び島嶼地域に対する国際法を無視した力による一方的な現状変更の試みに対しては強く反撃する姿勢を示し、同様の脅威に晒されている多くの国々と連携し取り組んでいく。
• 慰安婦問題をめぐる我が国の名誉を著しく毀損する外交プロパガンダに対しては、事実の遮断等の手段を講じて徹底的に反論する。また、我が国の歴史的な正当性を積極的に国際社会に発信していく。

社会保障制度改革

「自立」を前提として、家族による助け合いを強め、年齢・性別を超え、子供から大人、障害を持つ方々すべての日本国民が笑顔で暮らせる制度の確立
• 生活保護の支給対象を改めて国民に限定する。
• 三世同居・近居、いわば「お鍋のスープが冷めない距離」での家族の支え合いを大切にすること等を通じて、家族・地域社会・国家それぞれの共同体の中で、国民が自立を前提とした上で、ともに支えあって生きていく社会を目指す。

甘粕和彦プロフィール

昭和58年 神奈川県藤沢市生まれ。藤ヶ岡中学校卒業後、地元の工務店に勤める。
平成17年 高等学校卒業程度認定試験合格。
約1年の受験勉強の後、上智大学法学部国際関係法学科に入学。
平成23年 大学卒業後、民間企業に就職。
平成24年 たちあがれ日本(平沼赳夫代表)の次世代人材育成塾「かけはし塾」卒業後、日本維新の会衆議院神奈川県第12選挙区支部支部長に就任。総選挙において32,590票いただいても落選。
平成25年 衆議院議員藤井孝男の秘書を務める。
平成26年 次世代の党衆議院神奈川県第12選挙区支部支部長に就任。

趣味：カラオケ、スノーボード、野球
座右の銘：「志在千里」尊敬する人物：上杉謙信公

甘粕和彦
事務所

〒251-0004 0466-27-8837
神奈川県藤沢市 0466-50-2947
藤ヶ岡2-12-6 090-5342-8849
shonan@amakasukazuhiho.net
http://amakasukazuhiho.net/



あまかすかずひこ
甘粕和彦

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

比例区は



The Democratic Party of Japan

民主党

藤沢・寒川を愛する私たちは、あべともこさんを応援します

飛鳥田一朗 医師・竹生会理事長
石田達雄 妙善寺住職
石浜みかる 作家
今井重信 特定医療法人社団若林会理事長
浮田久子 平和の白いリボン行動・藤沢
梅澤康信 元県立高校校長
小山明子 女優
西條節子 元社会福祉法人藤沢育成会理事長
芝祐久 作曲家
田川元子 鶴沼松が丘在住
葉山淳子 葉山峻元藤沢市長夫人
宮原昭夫 作家
宮原青子 画家
柳谷あき子 NPO法人晶の会理事長
吉田貢 よしだみつ整形外科クリニック院長
鷺尾公子 NPO法人ぐるーぶ藤理理事長

岩崎幸司 湘南地域連合議長
柏木教一 連合神奈川県会長
桜井勝延 福島県南相馬市長
高野良裕 社会福祉法人湘南愛心会理事長
中川智子 兵庫県宝塚市長
藤井裕久 民主党顧問・元財務大臣
保坂展人 東京都世田谷区長
柳澤協二 元防衛庁人事教育局長・元内閣官房副長官補

私も応援します

あべともこ プロフィール
1948年東京生まれ。東京大学医学部卒。
湘南鎌倉総合病院など勤務
千葉徳洲会病院院長を経て
2000年 衆議院議員選挙で初当選(連続5期)。
社民党政審会長、日本未来の党代表などを歴任
2003年 藤沢・湘南台に「あべともこクリニック」を開設
2012年 超党派国会議員による「原発ゼロの会」を立ち上げ、事務局長に
超党派国会議員連盟「立憲フォーラム」副代表

小児科 医師

国民が止める！ 格差拡大・軍事国家への道。 すべては未来の子どもたちのために！

ストップ！ 非正規雇用拡大、長時間労働

格差は生涯にわたり、貧困率上昇が止まらず、特に女性の貧困は深刻です。それは次世代へ連鎖し、子どもの貧困が深まります。実質賃金と可処分所得を減らすだけのアベノミクスには反対、雇用と暮らし、家庭を支えることが最優先です。希望する人が正社員になれるようにし、同一価値労働同一賃金を実現します。

ひとへの投資を！ やめる！ 不要な公共事業 しない！ 社会保障削減

箱もの(コンクリート)よりも人に手厚く投資し、生活保障施策を充実させます。何より、東北・福島における「人間の復興」を支えます。地域の循環と支え合いを促進し、拠点としての医療・介護・福祉施設や地域の歴史と絆を担う学校・廃校を活用します。

原発ゼロへ！ 事故収束と復興に全力を

誰も責任をとらない原発再稼働も、海外への輸出も認めません。再生可能エネルギーの飛躍的拡大と省エネ徹底を押し進め、原発ゼロへの確かな工程表を実行させます。

東アジアの信頼醸成を！ 差別禁止！ No！ヘイトスピーチ

東アジアの緊張緩和、歴史認識の共有と信頼醸成を進め、ヘイトスピーチを規制します。沖縄は平和の砦。辺野古新基地は不要です。TPP(環太平洋経済連携協定)よりも、FTAAP(アジア太平洋自由貿易圏)でアジアの緩やかな発展を目指します。

つくろう！ 平和創造基本法

安倍政権は軍事力を行使する国への道を突き進みます。戦後日本の土台である非軍事・平和外交の国柄を捨てることは断じて認められません。専守防衛・徴兵制禁止の「平和創造基本法」を市民と一緒につくりあげます。

安倍政権の勝手な憲法解釈は国民無視、立憲主義の放棄。主権者である国民に国の未来を問うことこそ立憲主義です。

あべともこ オフィシャルサイト
<http://www.abetomoko.jp>
あべともこ ツイッター
@abetomoko_staff



民主党公認

あべともこ

主権者が未来を選ぶ
子どもをまもる！

神奈川県ネットワーク運動・藤沢 推薦
神奈川県ネットワーク運動 推薦

投票日 12月14日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

- ◎衆議院小選挙区選出議員選挙
投票用紙(ピンク色)には、候補者1人の氏名を記入します。
- ◎衆議院比例代表選出議員選挙
投票用紙(うぐいす色)には、名簿届出政党等の名称を1つ記入します。
- ◎最高裁判所裁判官国民審査
投票用紙(白色)には、やめさせた方がよいと思う裁判官については、氏名の上の欄に×を書きます。
やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないください。

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。